

授業科目名	保育実習事前事後指導Ⅱ (保育所)		科目コード	204053	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	3 年
担当教員	米丸 真由美		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 ・ 保育所・保育園及び認定こども園の現場に19年ほど勤務し、各年齢のクラス担任を経験。実務経験を活かし、実践を通じて、保育の技術、能力を向上させる指導を行う。 ・ 近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師				
開講時期	<input type="checkbox"/> 前期・後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30 時間	
	必須 ・ 選 択 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト1	書 名	知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド (新訂)			
	著 者	石橋裕子・林幸範編著			
	出版社	同文書院			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	「保育実習事前指導」田上哲 近畿大学九州短期大学				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ 「保育実習事前事後指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ(保育所)」での学びや、これまでの学習内容を基盤として保育所の理解、また子ども・家庭の支援について理解を深める。 ・ 記録、指導案の作成を行うとともに、指導計画に基づいて実践を行うための知識や技術を高める。 ・ 保育者として、自己評価を行い、課題を明確にする。					
<授業の概要・授業方針> ・ 「保育実習(保育所)」での自己評価と課題を振り返り、具体的な事例を通して、実践的な内容を学習する。 ・ 活動を多角的な視点から捉えることで、必要な準備がわかるとともに、子どもの発達段階に合わせた指導計画案を作成できる。また知識の幅が広がり、子どもの状況に合わせた保育の展開ができるようになる。 ・ 「保育実習Ⅱ」に対する学習目的を明確にし、終了後には、自己評価を行うことで、保育者として、今後の課題が明確になる。					

<p><成績基準・評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 ・評価基準 <p>① 保育実習事前準備を含むレポート 40%</p> <p>② 「保育実習Ⅱ」の実習事後レポート 40%</p> <p>③ 授業における発言を含む授業態度と課題等の提出 20%</p>
<p><使用問題集・注意事項></p>
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育実習(保育所)」の振り返りと、自己課題を明確にする。 ・「保育実習Ⅱ」に臨むにあたって、具体的な教材や設定保育など実習園に合わせた準備を行う。

授業科目名	保育実習事前事後指導Ⅱ(保育所)	
回	授 業 内 容	備 考
1	実習についての心構え	
2	保育実習(保育所)の振り返り①	
3	保育実習(保育所)の振り返り②	
4	保育実習(保育所)の振り返り③	
5	保育実習(保育所)の振り返り④	
6	保育実習(保育所)の振り返り⑤	
7	保育実習Ⅱの目的	
8	保育実習Ⅱの意義	
9	地域社会への連携	
10	保護者・家庭への支援①	
11	保護者・家庭への支援②	
12	教材研究・指導計画の作成①	
13	教材研究・指導計画の作成②	
14	教材研究・指導計画の作成③	
15	研究保育準備①	
16	研究保育準備②	
17	研究保育準備③	
18	実習終了後の反省①	
19	実習終了後の反省②	

20	実習終了後の反省③	
21	事後レポートの作成①	
22	事後レポートの作成②	
23	事後レポートの作成③	
24	事後レポートの作成④	
25	事後レポートの作成⑤	
26	事後レポートの作成⑥	
27	次回実習への課題まとめ①	
28	次回実習への課題まとめ②	
29	次回実習への課題まとめ③	
30	保育実習Ⅱ総まとめ	